

# かべ新聞

第 117 号

2018 年  
1 月 26 日

J R 東海労働組合  
新幹線地方本部  
東京車両所分会

## SMT で発生した労災は、現場の声を無視し JR が何ら対策を行って来なかった結果だ！

1 月 19 日(金) 12 時頃、SMT 女性社員が、第 2 検修庫の庫 5～6 番線間、デッキコンクリートの剥がれにつまずき、その先の東京方の階段に転落して顔面から肩を強打し「複雑骨折」するという労災が発生しました。今回の「労災」で痛く辛い思いをされた SMT 社員の早期の回復と復帰を願います。

## 私たちは昨年 8 月、具体的に幹鉄事に 申入れで指摘してきた！

私たちは幹鉄事に対して地本・申 4 号（2017 年 8 月 22 日）で具体的に『第一検修庫、第二検修庫は老朽化により、屋根上からの雨漏れ、床コンクリートの欠損による段差の発生、さらには側溝のグレーチングに凹凸の危険箇所が多数ある。よって、労働災害防止及び、運転事故防止のため早急に一斉点検を実施し対策を行うこと。』と指摘し申し入れてきました。他にも、社員が何度も「安全日誌」にも書いて改善を求めてきた事柄です。

この申入れに対する会社回答は「現状で対処されたい。尚、申告の都度関係箇所に報告し必要な修繕は順次実施している。」というものでした。

### 原因と対策が「個人の注意力!？」では済まされない！

### 「大井車両基地の老朽化対策」をおろそかにする会社の責任だ！

つい最近でも検修庫内の金属板が落下するという事態がありました。これも「大井車両基地の老朽化対策」に精力的に取り組まなかった会社の責任です。今回の労災も会社の施設管理上の不適切な対応やリニア建設のための経費節減、現場の声を無視する会社の体質こそが根本原因と言わざるをえません！

**私たちは、検修庫の全箇所について一斉点検を行い、危険箇所、不具合箇所の抜本的改善と解決を図ることをもう一度強く訴えます！**